

平成25年度

世田谷区立次大夫堀公園民家園企画展

野菜の時代

— せたがやそだちの源流 —

関連イベント

【会場】次大夫堀公園民家園

荷車の実演と体験 - 民家園に牛がやってくる -

11/17(日) 10:00~15:00 参加自由

※詳しくは「区のお知らせ」11月1日号をご覧ください

野菜のタネをとろう

12/15(日) 13:00~15:00 申し込み制

講師：横山 修一 (元都立園芸高校教諭)

※詳しくは「区のお知らせ」11月15日号をご覧ください

野菜の宝船づくり

実演(宝船製作)：12/20(金) 13:30~ 参加自由

配布(宝分け)：12/23(祝) 13:30~ 参加自由

実演：上祖師谷郷土研究会

※詳しくは「区のお知らせ」12月1日号をご覧ください

■「第43回 世田谷区農業祭 特別展示」に出展します

日時：11月9日(土) 11月10日(日) いずれも 9:30~16:00

場所：世田谷公園(池尻 1-5-27)

所管：世田谷区産業政策部都市農業課

2013年 11月1日(金) → 12月27日(金)

【会場】世田谷区立次大夫堀公園民家園 (喜多見 5-27-14)

【主催】世田谷区教育委員会

【開園時間】午前9時30分~午後4時30分 【入場料】無料 【休園日】月曜日 (祝日の場合は翌日)

お問い合わせ = 生涯学習・地域・学校連携課民家園係 (〒157-0067 世田谷区喜多見5-27-14 TEL. 03-3417-5911 FAX. 03-3417-5961)

【動物取扱業】株式会社 湘南動物プロダクション(千葉県成田市吉岡 1218-1) / 種別：展示 / 12-印健福-959-3号 / 取扱責任者：土嶽沙紀 / 平成 24年11月14日(登録) / 平成 29年11月13日(登録末日)

再生紙を使用しています。

野菜の時代

せたがやそだちの源流



この時期、世田谷の中でも大蔵村や烏山村などが、市場でも評判の産地として知られるようになります。「大蔵大根」や「下山千歳白菜」などの優れた野菜は種苗登録などを経て、今日の世田谷でも広く知られています。昭和30年頃までは野菜作りに欠かすことのできない下肥汲みや出荷作業など、多くの村人が野菜に関わっていた時代でした。

世田谷の村々は江戸期にはすでに茄子などの野菜を生産し、江戸の青物市場などへ出荷してきました。明治期以降、東京周縁における宅地化の広がりによって、都市近郊の農村である世田谷はより多くの野菜を生産・出荷するようになり、昭和初期には野菜の生産が最盛期を迎えます。



2013年11月1日(金) → 12月27日(金)



近年、世田谷の農産物は「せたがやそだち」とよばれ多くの消費者に親しまれています。今も残るこうした世田谷の野菜生産の背景には、野菜全盛の時代に培ってきた多くの知恵や技術が息づいているといえます。本展では、かつて世田谷で生産されていた野菜の歴史を探るとともに、村に語り継がれる野菜の記憶を探ります。

世田谷区立次大夫堀公園民家園

【所在地】〒157-0067 世田谷区喜多見5-27-14

【開園時間】午前9時30分～午後4時30分

【入園料】無料

【休園日】月曜日(祝日の場合は翌日)

お問い合わせ= 世田谷区教育委員会事務局 生涯学習・地域・学校連携課民家園係
(〒157-0067 世田谷区喜多見5-27-14 TEL. 03-3417-5911 FAX. 03-3417-5961)

写真 [左上] 旧鎌田村の洗場 (石井常男氏所蔵)

[右上] 旧大蔵村の初荷風景 (石井弥助氏所蔵)

[左下] 白菜の採種に使用した計量道具 (下山繁雄氏所蔵)



◆交通案内

バス

・小田急線成城学園前駅南口
→東急田園都市線二子玉川駅
・東急田園都市線二子玉川駅
→小田急線成城学園前駅西口
いずれも「砧中学校下」又は「次大夫堀公園前」下車徒歩2分

徒歩

小田急線成城学園前駅南口より15分